

平成 28 年シラス曳網調査結果 No.1 (平成 28 年 6 月 10 日)

福島県水産試験場

調査方法

- 調査船「拓水」で 5 月 31 日にいわき、6 月 8 日に相馬海域のシラス調査を行いました。
- いわき海域の調査点は 36-55N、140-55E～141-10E の 4 点です。表面水温は 15.8～19.8℃でした(図 1-1)。
- 相馬海域の調査点は 37-48N、141-00E～141-15E の 4 点です。表面水温は 16.2～16.3℃でした(図 1-2)。
- 中層トロール網で 10m 深付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網しました。

結果

- いわき、相馬海域ともマイワシシラスの混入がみられました。特に相馬海域では半数以上がマイワシシラスでした。
- いわき海域におけるカタクチシラスの採捕数は 2,279 尾、定点当たりの平均は 570 尾で、全長は 6.7～31.1mm、平均 23.1mm でした(図 1-1、2-1)。
- いわき海域におけるマイワシシラスの採捕数は 201 尾、定点当たりの平均は 50 尾で、全長は 10.4～25.9mm、平均 21.2mm でした(図 1-1、3-1)。
- 相馬海域におけるカタクチシラスの採捕数は 151 尾、定点当たりの平均は 38 尾で、全長は 8.0～21.5mm、平均 14.2mm でした(図 1-2、2-2)。
- 相馬海域におけるマイワシシラスの採捕数は 155 尾、定点当たりの平均は 39 尾で、全長は 6.8～20.5mm、平均 12.6mm でした(図 1-2、3-2)。

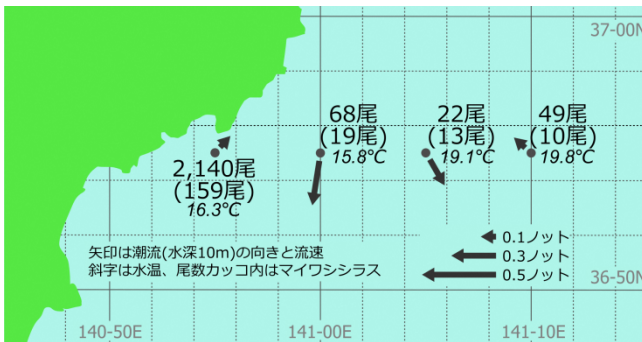


図 1-1 シラス採捕尾数(いわき海域)

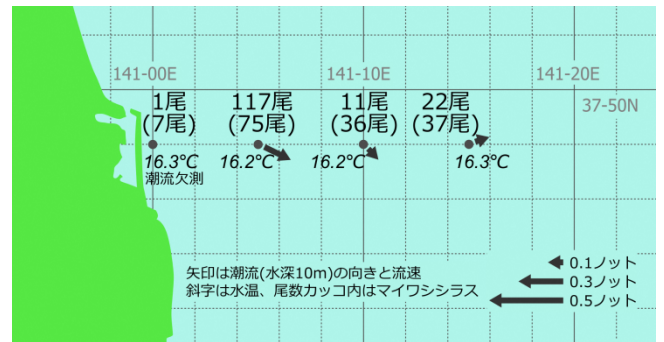


図 1-2 シラス採捕尾数(相馬海域)

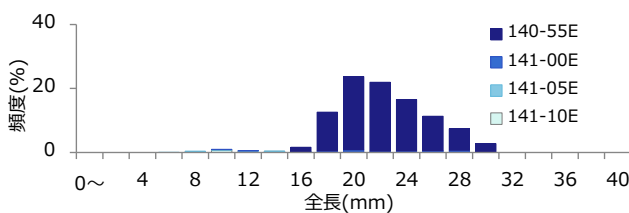


図 2-1 シラス(カタクチイワシ)全長組成(いわき海域)

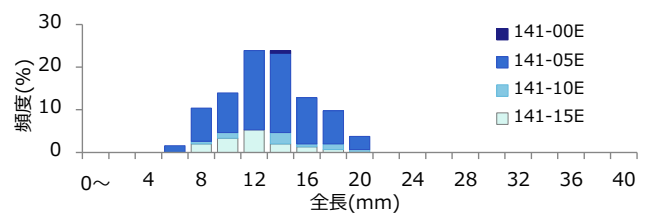


図 2-2 シラス(カタクチイワシ)全長組成(相馬海域)

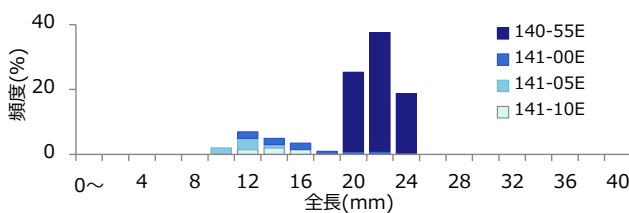


図 3-1 シラス(マイワシ)全長組成(いわき海域)

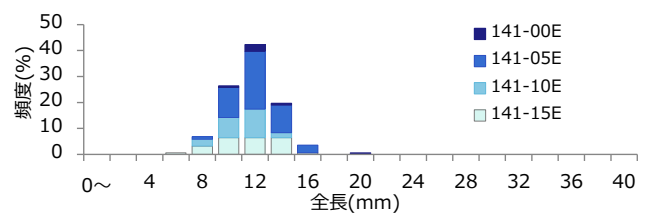


図 3-2 シラス(マイワシ)全長組成(相馬海域)

【平成 28 年 シラス曳網調査】

水産試験場では、漁業調査指導船「拓水」による、中層トロール網を用いたカタクチイワシ仔魚(シラス)曳網調査を実施します。

調査海域: いわき、相馬海域

調査時期: 5～11月

調査機材: 中層トロール網(図4)

調査定点: 各線とも水深10-20m深を起点とし、距岸12マイル沖まで(表1)。

曳網船速、時間: 1.5kt、10分間

曳網水深: 10m(一番灘の定点は表層)

ワープ長: 30m(一番灘の定点は10m):

網口: 網口高さ約5m×網口幅約5m

調査記録項目: 水温、採捕尾数、全長組成(50-100尾)

調査結果については水産試験場ホームページ、FAXで広報いたします。

表1 調査定点

定線\定点	1	2	3	4
鵜ノ尾埼 37-48N (相馬海域) およその水深	141-00E 12m	141-05E 37m	141-10E 39m	141-15E 57m
小名浜 36-55N (いわき海域) およその水深	140-55E 20m	141-00E 62m	141-05E 125m	141-10E 139m

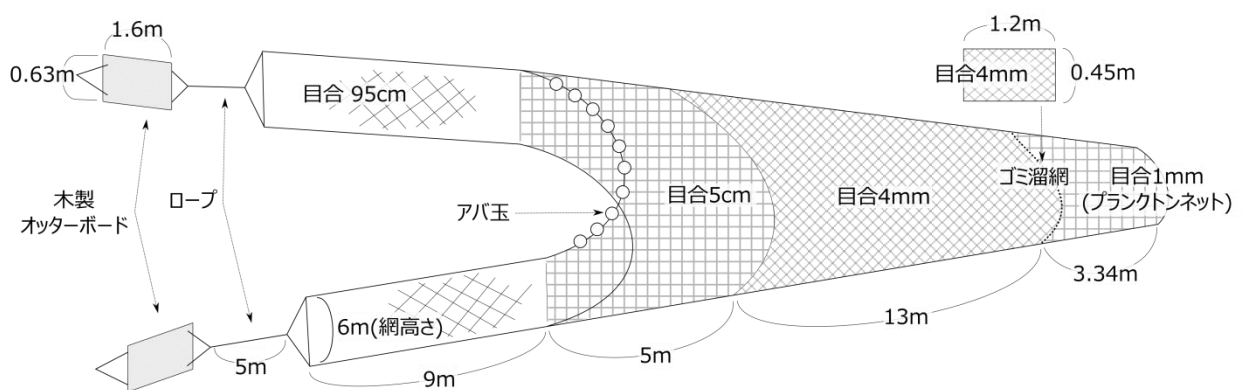


図4 中層トロール網模式図

平成 28 年シラス曳網調査結果 No.2 (平成 28 年 7 月 1 日)

福島県水産試験場

調査方法

- 調査船「拓水」で 6 月 28 日にいわき海域のシラス調査を行いました。
- 調査点は 36-55N、140-55E～141-10E の 4 点です。表面水温は 19.9～21.6℃でした(図 1)。
- 中層トロール網で 10m 深付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網しました。

結果

- 灘側 2 点でマイワシシラスが若干混入しました。
- カタクチシラスの採捕数は 2,226 尾、定点当たりの平均は 557 尾で、大半は灘側の定点で採捕されました(図 1)。全長は 7.0～39.3mm、平均 29.3mm でした。灘側 1 点は 29mm に、沖側 3 点は 12mm にモードがありました(図 2)。
- マイワシシラスの採捕数は 67 尾、定点当たりの平均は 17 尾で、全長は 16.8～31.4mm、平均 29.1mm でした(図 1)。

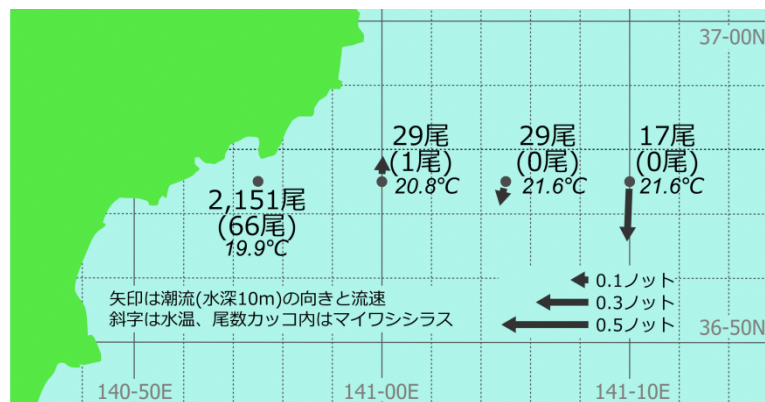


図 1 シラス(カタクチイワシ、マイワシ)採捕尾数

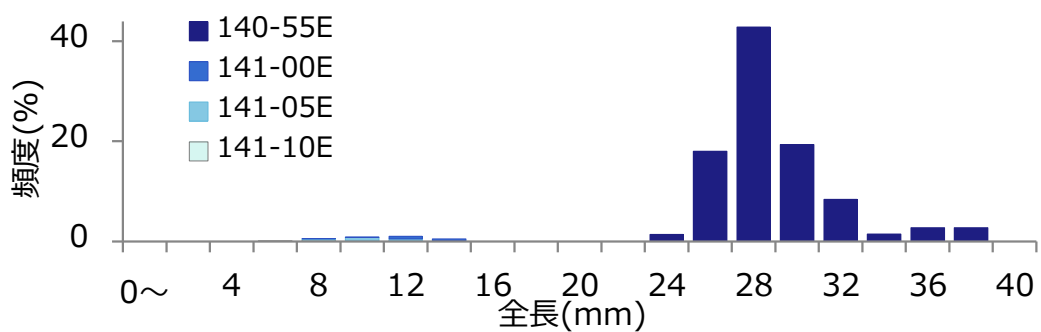


図 2 シラス(カタクチイワシ)全長組成

平成 28 年シラス曳網調査結果 No.3 (平成 28 年 7 月 6 日)

福島県水産試験場

調査方法

- 調査船「拓水」で7月4日に相馬、5日にいわき海域のシラス曳網調査を行いました。
- いわき海域の調査点は 36-55N、140-55E～141-05E の3点です。表面水温は 20.0～22.0℃でした(図 1-1)。
- 相馬海域の調査点は 37-48N、141-00E～141-15E の4点です。表面水温は 19.9～20.7℃でした(図 1-2)。
- 中層トロール網で 10m深付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網しました。

結果

- いわき海域ではマイワシシラスが若干混入していました。相馬海域のシラスは全てカタクチシラスでした。
- いわき海域におけるカタクチシラスの採捕数は 1,523 尾、定点当たりの平均は 508 尾で、全長は 9.0～27.5mm、平均 16.0mm でした(図 1-1、2-1)。
- いわき海域におけるマイワシシラスの採捕数は 8 尾、定点当たりの平均は 3 尾でした(図 1-1)。全長は 12.4～22.3mm、平均 17.8mm でした。
- 相馬海域におけるカタクチシラスの採捕数は 312 尾、定点当たりの平均は 78 尾で、全長は 10.2～27.8mm、平均 20.0mm でした(図 1-2、2-2)。
- 平成 18 年以降の 7 月の採捕数を比較すると、いわき海域では今回が最多、相馬海域では最少でした(図 3-1、3-2)。

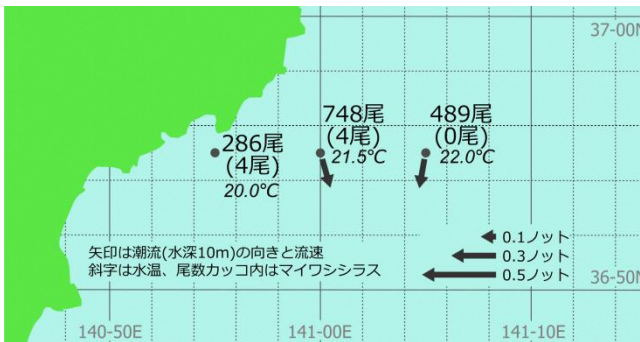


図 1-1 カタクチ、マイワシシラス採捕尾数(いわき海域)

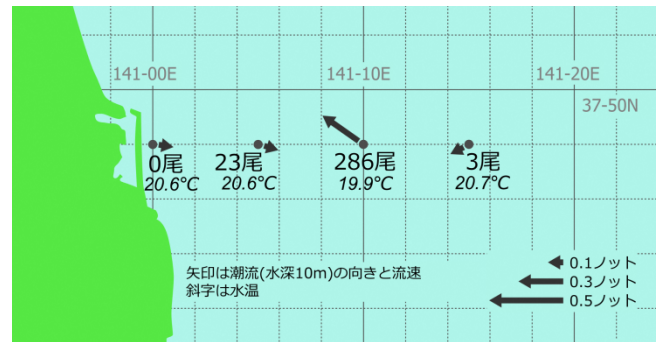


図 1-2 カタクチシラス採捕尾数(相馬海域)

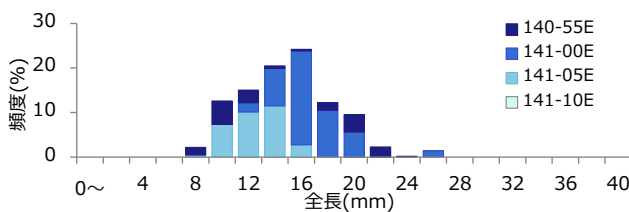


図 2-1 カタクチシラス全長組成(いわき海域)

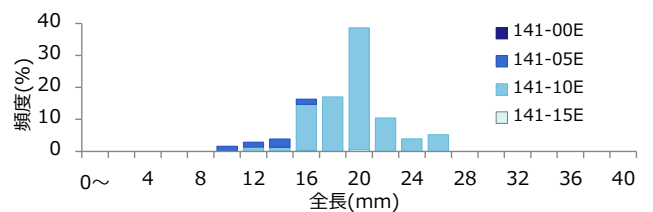


図 2-2 カタクチシラス全長組成(相馬海域)

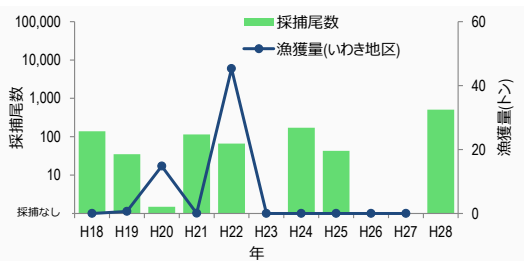


図 3-1 定点当たり採捕尾数の年推移(いわき海域-7月中層トロール)及び7月漁獲量



図 3-2 定点当たり採捕尾数の年推移(相馬海域-7月中層トロール)及び7月漁獲量

平成 28 年シラス曳網調査結果 No.4 (平成 28 年 8 月 3 日)

福島県水産試験場

調査方法

- 調査船「拓水」で 8 月 1 日に相馬、2 日にいわき海域のシラス曳網調査を行いました。
- いわき海域の調査点は 36-55N、140-55E～141-10E の 4 点です。表面水温は 25.0～25.4℃でした(図 1-1)。
- 相馬海域の調査点は 37-48N、141-00E～141-15E の 4 点です。表面水温は 23.3～24.9℃でした(図 1-2)。
- 中層トロール網で 10m 深付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網しました。

結果

- いわき海域におけるカタクチシラスの採捕数は 1,016 尾、定点当たりの平均は 254 尾で、全長は 8.4～24.0mm、平均 16.7mm でした(図 1-1、2-1)。
- 相馬海域におけるカタクチシラスの採捕数は 210 尾、定点当たりの平均は 53 尾で、全長は 9.2～19.1mm、平均 11.9mm でした(図 1-2、2-2)。
- 平成 18 年以降の 7 月の採捕数を比較したところ、相馬海域ではこれまでで最少でした(図 3-2)。

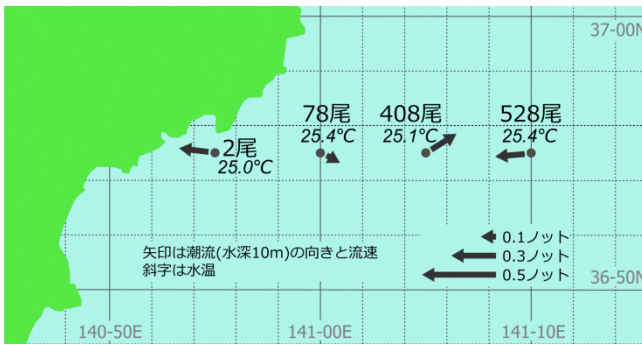


図 1-1 カタクチシラス採捕尾数(いわき海域)

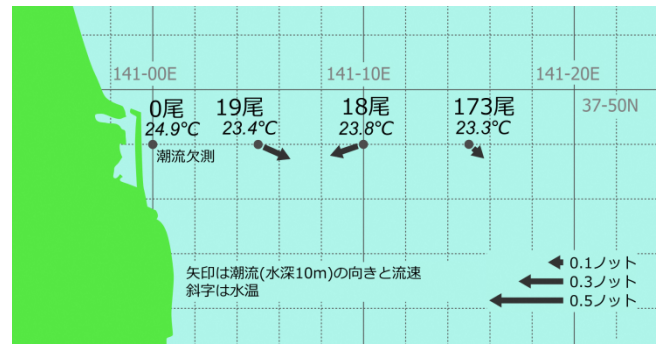


図 1-2 カタクチシラス採捕尾数(相馬海域)

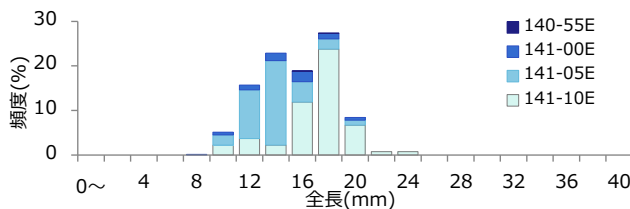


図 2-1 カタクチシラス全長組成(いわき海域)

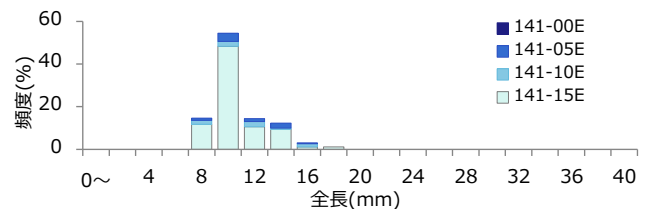


図 2-2 カタクチシラス全長組成(相馬海域)

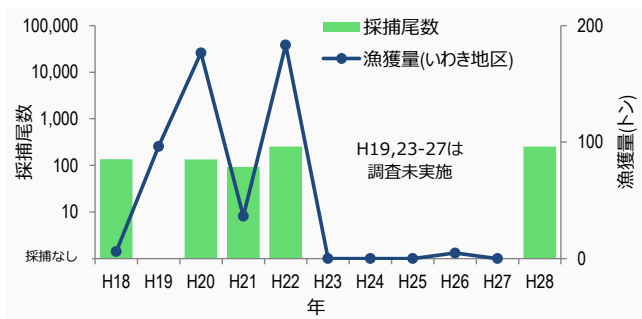


図 3-1 定点当たり採捕尾数の年推移(いわき海域-8 月中層トロール)及び 8 月漁獲量

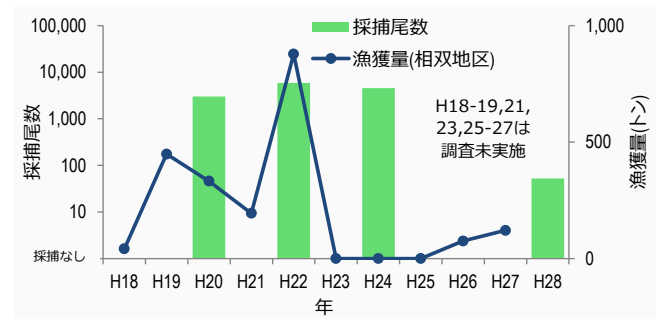


図 3-2 定点当たり採捕尾数の年推移(相馬海域-8 月中層トロール)及び 8 月漁獲量

平成 28 年シラス曳網調査結果 No.5 (平成 28 年 9 月 30 日)

福島県水産試験場

調査方法

- ・ 調査船「拓水」で 9 月 29 日にいわき海域のシラス調査を行いました。
- ・ 調査点は 36-55N、140-55E～141-10E の 4 点です。表面水温は 23.2～23.9℃でした(図 1)。
- ・ 中層トロール網で 10m 深付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網しました。

結果

- ・ カタクチシラスの採捕数は 1,107 尾、定点当たりの平均は 277 尾でした(図 1)。全長は 9.3～27.9mm、平均 16.6mm でした(図 2)。
- ・ 平成 18 年以降の 9 月の採捕数を比較したところ、今回は 20 年に次いで多くなっていました(図 3)。

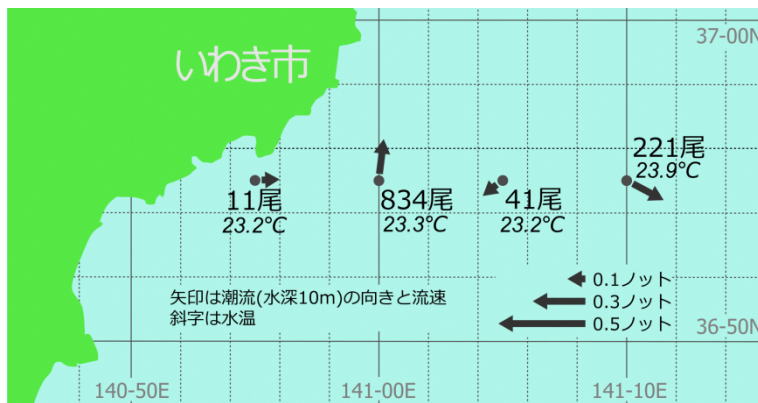


図 1 カタクチシラス採捕尾数

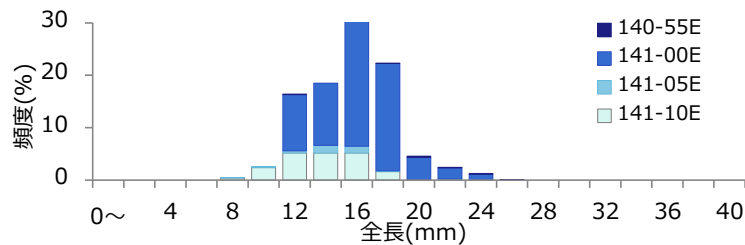


図 2 カタクチシラス全長組成

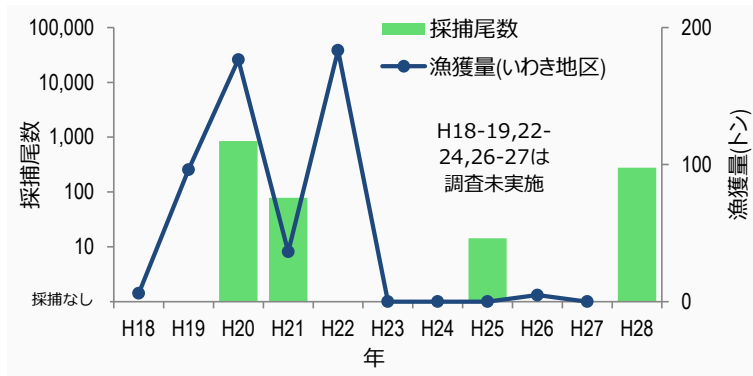


図 3 定点当たり採捕尾数の年推移
(いわき海域-9 月中層トロール)及び 9 月漁獲量

平成 28 年シラス曳網調査結果 No.6 (平成 28 年 10 月 14 日)

福島県水産試験場

調査方法

- ・ 漁業調査指導船「拓水」で 10 月 13 日にいわき海域のシラス調査を行いました。
- ・ 調査点は 36-55N、140-55E～141-05E の 3 点です。表面水温は 20.9～22.2℃でした(図 1)。
- ・ 中層トロール網で 10m 深付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網しました。

結果

- ・ カタクチシラスの採捕数は 346 尾、定点当たりの平均は 115 尾でした(図 1)。全長は 9.7～26.3mm、平均 17.5mm でした(図 2)。
- ・ 平成 18 年以降の 10 月の採捕数を比較したところ、今回は 18 年に次いで多くなっていました(図 3)。

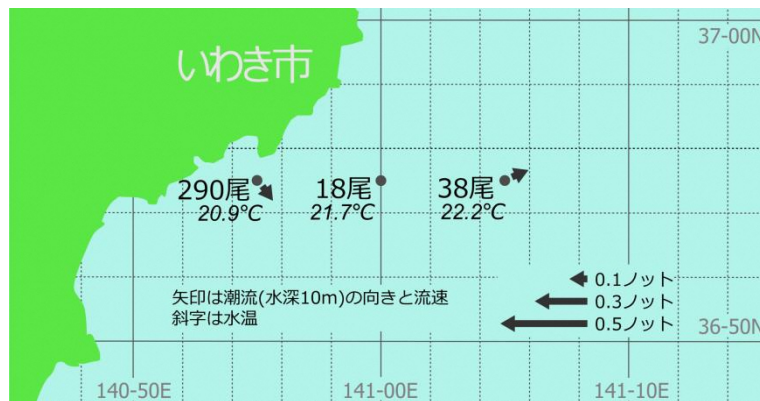


図 1 カタクチシラス採捕尾数

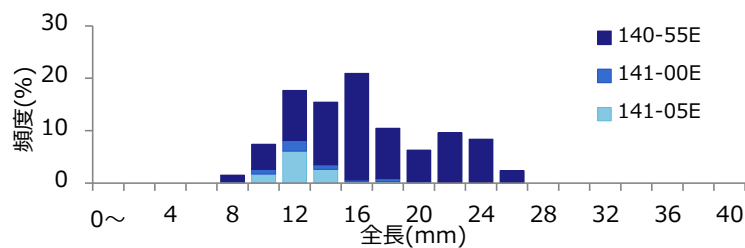


図 2 カタクチシラス全長組成

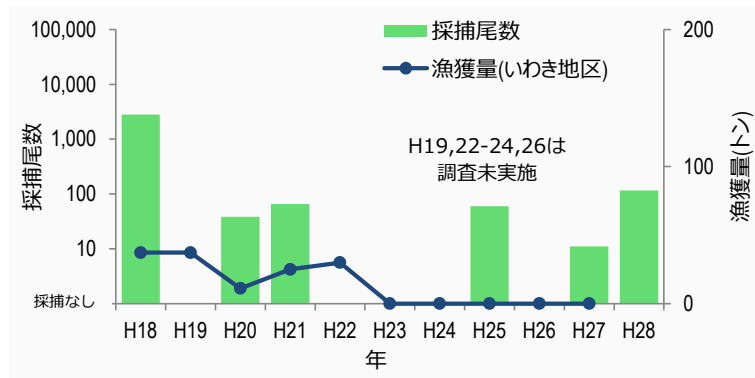


図 3 定点当たり採捕尾数の年推移
(いわき海域-10 月中層トロール)及び 10 月漁獲量

平成 28 年シラス曳網調査結果 No.7 (平成 28 年 11 月 22 日)

福島県水産試験場

調査方法

- ・ 漁業調査指導船「拓水」で 11 月 21 日にいわき海域のシラス調査を行いました。
- ・ 調査点は 36-55N、140-55E～141-05E の 3 点です。表面水温は 17.8～18.4℃でした(図 1)。
- ・ 中層トロール網で 10m 深付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網しました。

結果

- ・ カタクチシラスの採捕数は 3 尾、定点当たりの平均は 1 尾でした(図 1)。全長は 11.0～19.1mm、平均 15.0mm でした。
- ・ 平成 18 年以降の 11 月の採捕数を比較したところ、今回は 25 年と並び最少でした(図 2)。

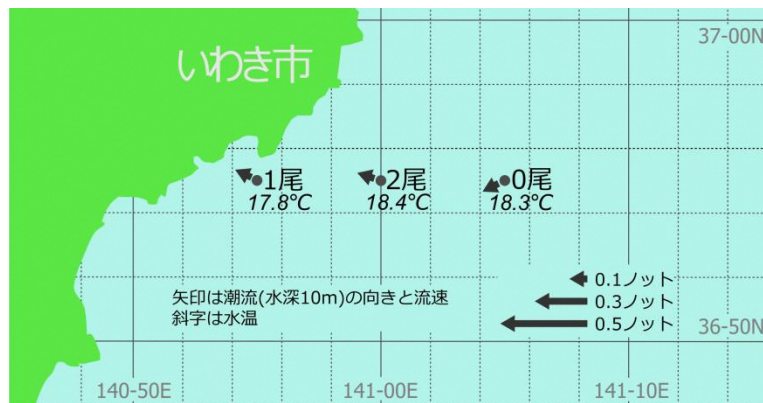


図 1 カタクチシラス採捕尾数

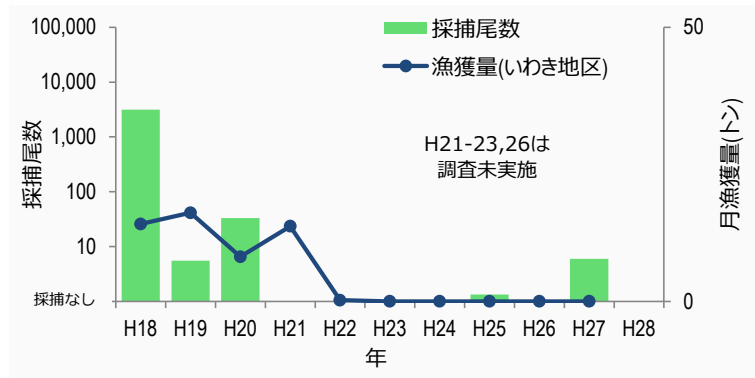


図 2 定点当たり採捕尾数の年推移 (いわき海域-11月中層トロール)及び 11 月漁獲量

平成 28 年シラス曳網調査結果 No.8 (平成 28 年 12 月 14 日)

福島県水産試験場

調査方法

- ・ 漁業調査指導船「拓水」で 12 月 12 日にいわき海域のシラス調査を行いました。
- ・ 調査点は 36-55N、140-55E～141-05E の 3 点です。表面水温は 17.9～19.7℃でした(図 1)。
- ・ 中層トロール網で 10m 深付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網しました。

結果

- ・ カタクチシラスの採捕数は 16 尾、定点当たりの平均は 5 尾でした(図 1)。全長は 15.1～23.2mm、平均 17.4mm でした。
- ・ 平成 18 年以降の 12 月の採捕数を比較したところ、例年ほとんど採れておらず、今回最も多くなっていました(図 2)。

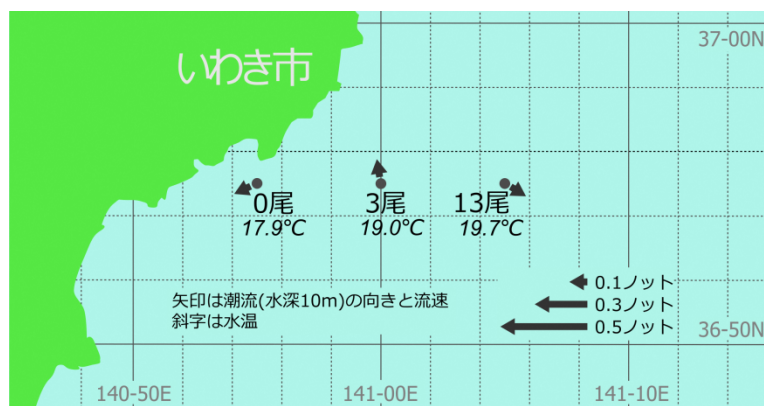


図 1 カタクチシラス採捕尾数

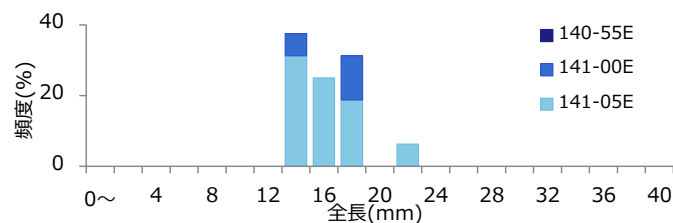


図 2 カタクチシラス全長組成

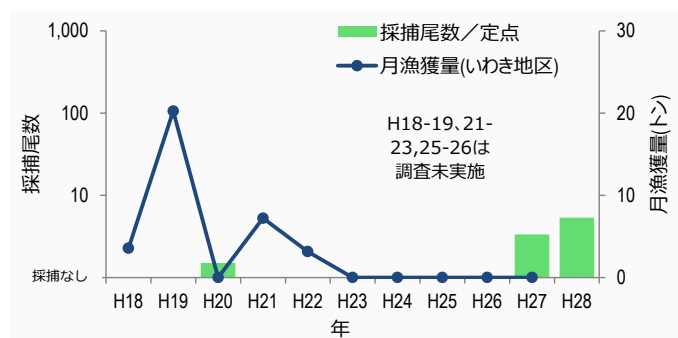


図 3 定点当たり採捕尾数の年推移
(いわき海域-12 月中層トロール)及び 12 月漁獲量